

## 研究課題「肺癌遺伝子解析研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2004 年以来現在までに秋田大学医学部附属病院で肺癌の手術切除をされた方。

### 2. 研究目的・方法

あなたが当院で手術を受けた肺癌の検体については、病理組織診断のために一部が使用されますが、残った部分は凍結保存（マイナス 80 度）、あるいはホルマリン固定パラフィン包埋ブロックとして保存されます。この保存検体から DNA あるいは RNA を抽出し、肺がん細胞における遺伝子の変化（変異、欠失、増幅、過メチル化等、体細胞レベルで生じたゲノム異常）と遺伝子発現の変動を解析し、それらのがんの進行期などの臨床病理学的情報と対比検討することで肺がんの発生・進展の分子機構及び特性を遺伝子レベルで明らかにすることを目的とする研究です。

方法として、保存検体から抽出した DNA あるいは RNA から、次世代シーケンスと呼ばれる、ほぼすべての遺伝子について解析が可能な新規の方法や、サンガーシーケンスと呼ばれる従来から用いられる、特定の遺伝子について解析が可能な方法等を用います。これにより、どのような遺伝子の変化が肺がんの発生進展に関わるかを明らかにし、肺がんの新たな診断法や治療法の開発につなげていきたいと考えています。

研究期間は 2014 年 12 月 15 日より 2028 年 3 月 31 日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 肺がんの手術で切除された肺のがん組織および肺の組織の凍結保存検体あるいはホルマリン固定パラフィン包埋ブロックから抽出された DNA や RNA 等。
- 臨床情報：年齢、性別、喫煙歴、病理所見、手術後経過等
- 国立遺伝学研究所 Japanese Genotype-phenotype Archive (JGA) (<https://www.ddbj.nig.ac.jp/jga/index.html>) よりデータ供与をうける、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) NBDC 事業推進部 (NBDC) (<https://humandbs.biosciencedbc.jp/>) に提供された本邦肺腺癌の遺伝子データ

### 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関への試料・データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でを行います。対応表は、当施設の研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

**(研究責任者)**

秋田大学大学院医学系研究科器官病態学講座・教授・後藤明輝

**(研究分担者)**

秋田大学大学院医学系研究科胸部外科学講座・准教授・今井一博

公益財団法人佐々木研究所腫瘍ゲノム研究部・部長・中岡博史

秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻・講師・藤田香里

秋田大学大学院医学系研究科器官病態学講座・大学院生・月田光

**6. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。  
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田県秋田市本道 1 - 1 - 1 秋田大学大学院医学系研究科 器官病態学講座  
教授 後藤明輝 (研究責任者) 電話 018-884-6064

研究代表者：秋田大学大学院医学系研究科器官病態学講座・教授・後藤明輝

情報管理責任者：秋田大学大学院医学系研究科器官病態学講座・技官・工藤幸紹

-----以上